

第503回番組審議会報告

(レポート提出による書面開催)

〔開催日〕 令和4年1月31日(月)までにレポート提出し開催とした。

〔レポート提出出席委員〕

柳谷豊彦 委員長／相馬佳苗 副委員長／中川愛美 委員／堀内史子 委員
鈴木雅史 委員／水山和敬 委員／三浦真守 委員／齋藤義紀 委員

〔レポート課題番組〕

◇ 「山形ニュースこの一年2021」

令和3年12月27日(月)

第1部 16:43～17:50 放送

第2部 18:15～18:55 (スーパーJチャンネル YTS ゴジダス3部内) 放送

担当: 報道局報道部 記者 荒木 拓美

〔レポートによる意見交換〕

山形テレビの第503回番組審議会は1月31日を締め切り日として各委員から課題番組についてのレポートをメール等書面で提出してもらい、その後各委員、社側出席者にフィードバックし意見交換を行った。前回で退任した川村委員の後任、齋藤義紀委員(酒田市)が今回よりレポート提出出席した。

課題番組は昨年末に放送した「山形ニュースこの一年2021」で、「新型コロナウイルス」、「政治決戦」、「東京五輪・パラ」を軸として2021年をVTRで振り返ったほか、年末の県内の様子を生中継で伝えた。委員からは、

「この一年、山形で何が起き、その結果何が変わったのか知りたかった。点を集めて放送するだけではなく時系列としての線を以て、その変化を示す方法もあったのでは」

「スポーツの話題を除くと未来への展望が見いだせない年でもあったなと感じた。明るいニュース・トピックスの提供がもっとほしかったと思う」

「村山地域の話題がほとんどで、最上地域は全く無く、庄内、置賜も同様に地域バランスに疑問」

「ボクシングの岡沢セオン選手インタビューや県民の来年の抱負は、来年に目線があり良かったと思う。新型コロナが続く中、視聴者も前向きになれるニュースを欲している面もあるのではないか」

「中継で伝えた蔵王の賑わいなど、今後も追いかけて次の年末の番組でどう乗り越えたのかなど、県民の頑張りを伝えてほしい」

「話題を集めたニュースをコンパクトにまとめていたが、ニュースのバリューに応じてメリハリを利かせてもよかったと感じた」

「エンディングは市民の来年の抱負で希望を感じ、桜、ひまわり、花火、樹氷と美しい山形の四季を綴りよい締めくくりとなっていた」

「ニュース振り返りと生中継が絡むことで新鮮な時間感覚が生まれた。アナウンサーが体を張った中継もあったが地域の選定や内容の必然性といった面では疑問が残った」

以上